

MI T S U B I S H I

三菱パーソナルコンピュータ **apricot**

ソフトウェアご使用の手引き

プログラム名	: HYPERSTAGE IIクライアント運用環境 サイレントインストール版
プログラム番号	: A71KR017
版名	: F00版
作成年月	: 2007年10月
主記憶容量	: 128MB以上 (Windows®XP使用時) 1GB以上 (Windows Vista®使用時)
著作権者	: 三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社

★Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

1. はじめに

HYPERSTAGE II クライアント運用環境（以下、HYPERSTAGE II）は、クライアント端末を DP-UX サーバ及び、Windows サーバと接続し、業務を実行するためのソフトウェアです。HYPERSTAGE II を使用すると、Windows のウィンドウ操作によって、サーバとクライアント端末を接続して、目的の業務アプリケーションプログラムを実行できます。

また、HYPERSTAGE II では、一回のログインで DP-UX サーバと、Windows サーバ双方へのジョブ投入／制御が可能です。

本ご使用の手引は、「HYPERSTAGE II クライアント運用環境サイレントインストール版」のセットアップ方法および、F O O 版での改良項目等について記述します。

本ソフトウェア製品は、特定の 1 台のコンピュータにインストールして使用することができます。

[関連説明書]

HYPERSTAGE II ジョブ運用管理説明書<U7-SR00-16A>

2. 必要なソフトウェア／ハードウェア環境

2. 1 ハードウェア環境

- ・パソコン本体装置
三菱パーソナルコンピュータ apricot（推奨）
- ・主記憶メモリ
1 2 8 MB 以上（Windows XP 使用時）、1 GB 以上（Windows Vista 使用時）
- ・ディスク容量
本製品インストール時には、Windows 直下に 5.0 メガバイト以上の空きとインストール指定ドライブに 5. 0 メガバイト以上の空き容量が必要です。
- ・LAN ボード
当社推奨 LAN 制御装置を使用する。
（ただし、DP-UX 接続時は、ap-BIND が動作する LAN 制御装置を使用してください）

2. 2 ソフトウェア環境

- ・パソコン側の OS 環境
Windows XP Professional（サービスパック 2 適用）または、Windows Vista（エディションは、Ultimate または Business）で動作します。
また、ファイルシステムは NTFS または、FAT32 でご使用下さい。

- ・サーバ側の OS 環境
利用形態により下記のどちらか一方または両方が必要となります。

<DP-UX サーバ接続の場合>

DP-UX B O O 版以降が必要です。

<Windows サーバ接続の場合>

Windows Server 2003 及び、HYPERSTAGE II サーバ実行環境 C O O 版以降が必要です。

- ・その他のソフトウェア環境
＜D P－U Xサーバ接続時＞
a p－B I N D 2 0 0 0 B 0 0版以降が必要です。

3. 「HYPERSTAGE IIクライアント運用環境サイレントインストール版」のセットアップ手順

3. 1 HYPERSTAGE IIクライアント運用環境のインストール
インストール方法に関しては、「PC セット製品 ソフトウェアご使用の手引き」をご覧ください。

3. 2 HYPERSTAGE IIクライアント運用環境のアンインストール

- (1) Administrators 権限のあるユーザーでログオンして下さい。
- (2) コントロールパネルで“アプリケーションの追加と削除”をダブルクリックし、“アプリケーションの追加と削除のプロパティ”のウィンドウを表示させます（Windows Vistaにおいては、“プログラムのアンインストール”を選択します）。
- (3) ソフトウェアのリストの中から、“HYPERSTAGE IIクライアント運用環境”を選択して、「変更と削除」、「削除」または、「アンインストール」を選択します。この操作により、アンインストーラが起動されます。起動されたアンインストーラの指示に従って、モジュールをアンインストールして下さい。

4. F O O 版での改良項目

(1) Windows Vista 対応

HYPERSTAGE II クライアント運用環境 F O O 版より、Windows Vista に対応しました。
サポートエディションは、Ultimate および Business です。

(2) 接続ホストの設定の簡易化

E30 版までは、接続ホスト設定は ap-BIND 2000 のセットアップの「相手選択番号」と、HOSTS ファイルまたは DNS 等のネームサービスの双方を行う必要がありました。

F00 版より、ap-BIND 2000 のセットアップの「相手選択番号」の設定のみでも接続できるように改良しました。

ただし、ap-BIND 2000 の X3D 機能または IPSEC 接続を行う場合は、従来通り HOSTS ファイルまたは DNS 等のネームサービスの設定を行っていただくか、セットアップ「相手選択番号」の“相手ホスト名”に、IP アドレスを直接指定いただく必要があります。Windows Vista の HOSTS ファイル設定については、8 章の注意事項を参照ください。

尚、「相手選択番号」が 5 台を超える場合については、インストール・ディレクトリ(¥MROOT ¥BIN)下の SYSTEM¥EXHOST. INI で設定いただくことが可能ですが、この設定で指定したホスト名についても、HOSTS ファイルやネームサービス設定なしでの接続や、IP アドレスの直接指定での接続が可能となります。

(3) ターミナル画面リリース時のコンソール・フォーカス

コンソールなしモード以外（既定）において、ターミナル画面リリース時にコンソール・フォーカスする設定をサポートしました（HYPERSTAGE/DT 互換）。

設定は以下のように行います。

インストール・ディレクトリ(¥MROOT ¥BIN)下の SYSTEM¥DPJOBEX. INI の[ENVIRONMENT]セクションに以下のキーと値を追加します。

CONSOLE OFF CUST=2

(4) “シンビオント操作” ボタン無効の設定

誤操作回避のため、「割込 3」キーで表示される操作リストの“シンビオント操作” ボタンを無効にできる設定を追加しました。

設定は以下のように行います。

インストール・ディレクトリ(¥MROOT ¥BIN)下の SYSTEM¥DPJOBEX. INI の[DPSYMC]セクションに以下のキーと値を追加します。

EXEC OFF=1

5. 注意事項

(1) 他プログラムのインストールについて

他のプログラムをインストールするときは、必ず HYPERSTAGE II クライアント運用環境等の当社製プログラムを終了した状態でインストールしてください（インストールがエラーになることがあります）。

また、他プログラムのアンインストールを行なうときも同様に、必ず HYPERSTAGE II クライアント運用環境等の当社製プログラムを終了した状態でアンインストールしてください。

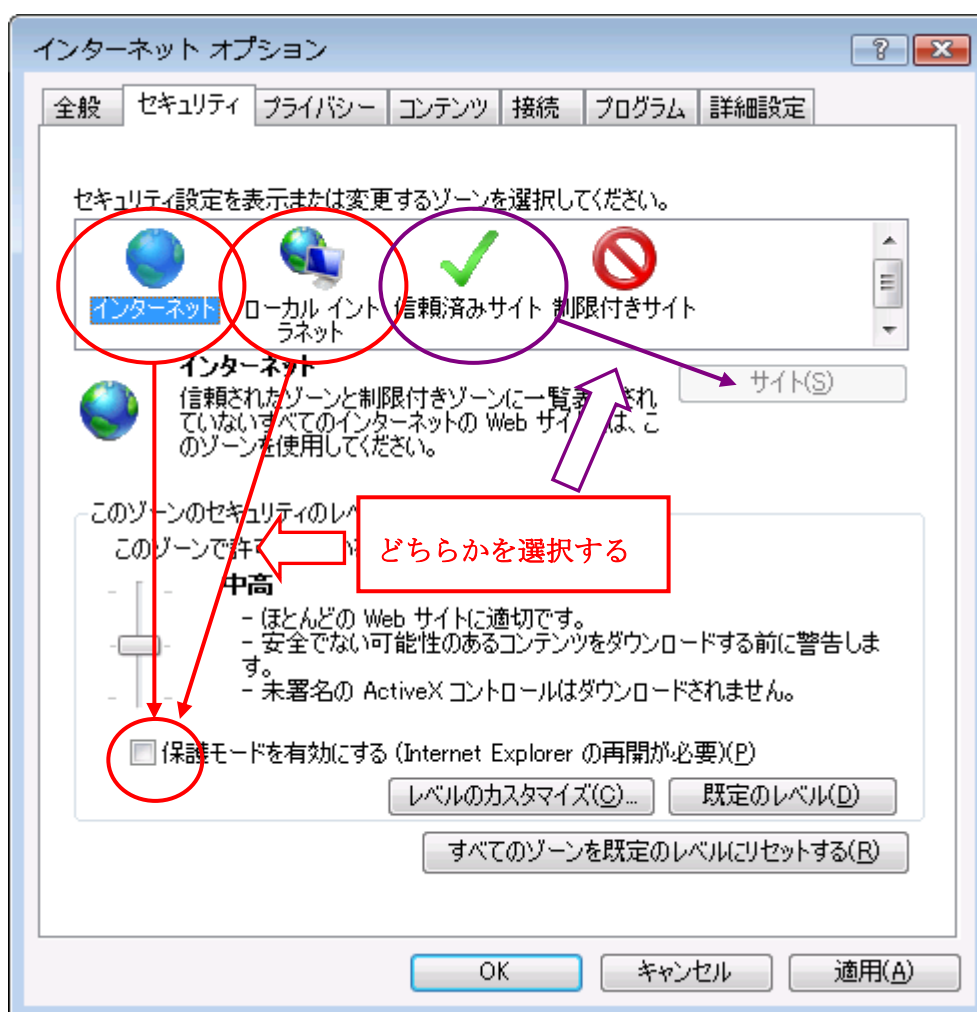
(2) Windows Vista の割り込みキーの制限（重要）

Windows Vista では、ユーザー アカウント制御 (UAC) 機能が既定で有効となっており、HYPERSTAGE II クライアント運用環境が行っている割り込みキー (ATT1、ATT2、ATT3、システ

ム要求のショートカット・キー)の機能が一部制限となります。この割り込みキーが制限となる条件は、以下となります。

①Internet Explorer 7との混在環境

Windows Vista上で動作するInternet Explorer 7は、保護モードと呼ばれる低い権限での動作が既定となり、HYPERSTAGE IIの割り込みキーが影響を受け無効となります。そのため、Internet Explorer 7との混在環境で操作を行う場合は、保護モードを無効にする必要があります。無効にするには、Internet Explorer 7の[ツール]メニュー (Altキー押下でメニュー表示されます) から[インターネット オプション]を選択し、表示されたダイアログの[セキュリティ]タブを選択します。



このダイアログで使用するゾーン (インターネットおよび、ローカル イントラネット) を選択し、画面下の”保護モードを有効にする (Internet Explorer の再開が必要)” のチェックボックスからチェックをはずして、「OK」ボタンをクリックしてください。または、使用する信頼できるサイトが決まっている場合は、ダイアログで”信頼済みサイト”を選択し、「サイト」ボタンをクリックして表示される”信頼済みサイト”ダイアログにて、該当サイトをすべて追加してください。

(※保護モードを無効または、信頼済みサイトを追加する場合は、セキュリティ上問題ないことを確認してから行ってください。)

尚、Internet Explorer 7 を保護モードで起動するだけで、その後、割り込みキーが無効となりますので、復旧するためには、Internet Explorer 7 を終了させてから、HYPERSTAGE II を再ログインする必要があります。

②管理者権限のアプリケーションからの割り込み

コントロールパネルの管理ツールや管理者として実行されたアプリケーション等、管理者権限で実行されているアプリケーションのウィンドウがフォーカスされている場合は、HYPERSTAGE II の割り込みキーが無効となります。その際は、該当ウィンドウを閉じるか、他のウィンドウをフォーカスするなどして、管理者権限ウィンドウからフォーカスはずすことにより、割り込みキーが有効に戻ります。

(3) Windows Vista での HOSTS ファイル編集方法

Windows Vista における HOSTS ファイルの編集は、管理者権限にてテキストエディタ（メモ帳等）を起動（ショートカットを右クリックして“管理者として実行”を選択）して、HOSTS ファイルを開いて編集ください。尚、HOSTS ファイルは他の OS と同様に、Windows ディレクトリ ¥System32¥drivers¥etc 下にあります。

(4) Windows Vista でのヘルプ表示

Windows Vista においてヘルプを表示するためには、マイクロソフト社の Web サイトであるダウンロードセンターより、

“Windows Vista 用 Windows ヘルプ プログラム (WinHlp32.exe)” をダウンロードする必要があります。

2007 年 6 月 1 日現在では以下の URL、

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=6ebcfad9-d3f5-4365-8070-334cd175d4bb>

にアクセスいただき、ファイル名「Windows6.0-KB917607-x86.msu」をダウンロードして実行ください。

(5) ファイアウォールの解除設定について

Windows XP (SP2) より標準動作するようになったファイアウォールの解除については、以下の表示名の製品についてブロック解除する必要があります（警告メッセージの“ブロック解除”ボタンをクリックします）。

●MDPATT32・・・最初のログイン時に警告メッセージが表示されます。

●PC S/W 保守用ツール・・・PC S/W 保守用ツール FSST 適用機能 (FSSTCHK) の最初のホスト接続時に警告メッセージが表示されます。

あとからブロック解除する場合は、コントロールパネルの Windows ファイアウォールの設定画面の“例外”タブにて、同一表示名のプログラムを選択してチェックしてください。

(6) PC S/W 保守用ツール FSST 適用機能 (FSSTCHK) の実行アカウント

PC-SIDR 適用用の FSSTCHK.EXE を実行する場合は、インストール・ディレクトリ (¥MROOT ¥BIN) 下の FSSTCHK.EXE を右クリックして“管理者として実行”を選択し、管理者権限で実行ください。管理者権限で実行しない場合は、正常に PC-SIDR 適用ができません。

－以上－